

湖南省地域おこし協力

隊の活動を紹介します

問地域創生推進課(東庁舎)

☎71・2316 ㊟72・2000

釘田和加子さん

私は2021年1月に湖南省の伝統野菜「弥平とうがらし」の加工品を扱う株式会社fm craic(エフエムクラック)を事業承継し、代表に就任しました。就任後には10年間続いてきた弥平とうがらしシリーズのブランディングに取り組み、商品のパッケージデザインを一新するとともに、新商品である「弥平とうがらしを使ったチキンビリヤニキット」を発売しました。

ビリヤニとはスパイスを使った炊き込みご飯です。私が昔住んでいたインドと滋賀県を掛け合わせた商品を作れないかと思ったことがきっかけで商品化に至りました。弥平とうがらしの辛味とスパイスでちょっとした旅行気分を味わっていただけたら嬉しいです。

ビリヤニキットは湖南省内のこびあ、東京のこび滋賀、ネットショップで販売しています。



購入はこちら



(商品ページへ)

近藤桃子さんが地域おこし協力隊を退任しました

10月31日に地域おこし協力隊の任期を終えた近藤桃子です。石部の旧東海道沿いの古民家を麻炭や漆喰などの自然素材で改修し、2020年1月25日に「まるとしかく」をオープンしました。自身のシックハウスやアトピーなどの体験から、「繊細な人もおらかな人も、アレルギーがある人もない人も、ともに心地よく過ごせる空間と食」をコンセプトに、自然栽培のお野菜ランチ、身体を整える気功やヨガ、占星術講座など、自分自身を大切にするためのイベントを定期的で開催してきました。

ご近所の人からお借りして始めた自然農の田んぼと畑は収穫量こそ少ないですが、仲間たちと汗を流しながら土に触れることはとても気持ちが良い事です。今後は次の目標である「五感を刺激する気づきの場」をめざし、運営メンバーを増やして少しずつ営業形態を変えていきます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



まるとしかく



江鬮(えぐち)久美子さん

私は食に関わる活動、地域のひととの畑作業や特産品をいかしたお菓子の開発をしています。また場所を間借りして甲西駅前にあるコワーキングスペースでのランチ営業や、地域おこし協力隊の仲間が経営するDONGREE BOOKS&STORY CAFEでタルトを焼いたり、ごはんを作ったり、その場に合わせた人に寄り添える食を考えています。仕事を頑張ったご褒美に、大切な人へのプレゼントに、incolore(アンコロール:屋号)のごはんとおやつが身近な存在になっていただけたら嬉しいです。

また、東寺献上ごぼう復刻プロジェクトでは、新商品の開発担当をしており、湖南三山の観光客向けとして、昨年度に開発した大人向けのビターなごぼうのチーズクッキー「ごぼうまる」とは打って変わって、今年度は子どもからお年寄りまで楽しんでもらえるように、ごぼうの粉末ときな粉をコーティングし、ほろっとした食感に仕上げました。商品名もごぼうとポーロをかけて「ゴボーロ」と名付けました。湖南三山の紅葉めぐりの時期に長寿寺境内で販売を行いますので楽しみにしてください。



栗田安朗さん(ペンネーム:ロビンやすお)

湖南省の史跡や伝説について知ってもらうために、「広報こなん」で市内の史跡をイラストと4コマ漫画にするコーナーを一年間連載させて頂きました。連載を終えた後もいくつかの史跡を描き足し、湖南三山の各お寺、地域まちづくり協議会など地域の人のご協力もあり、このたび「4コマ漫画で読む 湖南省の史跡と伝説」の冊子を発行することになりました。

湖南省の歴史を伝える書籍や、案内の看板などは各地域にありますが、その文面だけでは実際のイメージがしにくいと思います。本書は4コマ漫画としてはすこし難しいところもありますが、小学生でも最後まで読み切れるように描きました。湖南省が実はすごい場所だったということを知ってもらい、湖南省の史跡を訪れる際の楽しいガイド役になれば幸いです。

